

※店舗ごとに作成し、当該店舗の支給額を支給申請書に転記後、併せてご提出ください。

別添5 (新規開店特例、重点措置区域用)

店舗ごとの協力金支給申請額計算書

店舗名 (屋号)	
開業日	令和 年 月 日開業

※色のついたセルに数字を入れると自動計算されます。

以下のフロー図の質問を基に、該当する計算方法を選択していただき、数値を入力してください。支給額等を必ずご確認の上、「上記内容で申請します」にチェックしてください。

※売上高は、飲食部門における消費税及び地方消費税を除いた金額とすること。

【期間D (8月7日)】

1日あたりの売上高は、83,333円を超えますか？
(1日あたりの売上高 = 開店日から時短営業開始日の前日までの売上高総額 ÷ 開店日から時短営業開始日の前日までの日数)

はい

いいえ又は不明

支給額は1日あたり2.5万円です (売上高の証明は不要)。
以下を記入して支給額を確定してください。

25,000 円	×	時短協力日数	=	当該店舗への支給額
		1 日		25,000 円

支給額の計算が必要です。以下を記入して支給額を確定してください。

開業から時短開始日の前日までの売上高	÷	開業から時短開始日の前日までの日数	×	0.3 =	
①		②			③ 円

千円未満切上

1日あたりの支給単価	④ 円
------------	-----

※最大7.5万円

1日あたりの支給単価	×	時短協力日数	=	当該店舗の支給額
④		⑤ 1 日		⑥ 円

裏面に進んでください

※店舗ごとに作成し、当該店舗の支給額を支給申請書に転記後、併せてご提出ください。

【期間E（8月8日～8月19日）】

1日あたりの売上高は、**75,000円**を超えますか？（1日あたりの売上高＝開店日から時短営業開始日の前日までの売上高総額÷開店日から時短営業開始日の前日までの日数）

はい

いいえ又は不明

支給額は1日あたり**3万円**です（売上高の証明は不要）。

以下を記入して支給額を確定してください。

$$30,000 \text{ 円} \times \begin{array}{|c|} \hline \text{時短協力日数 (最大12日)} \\ \hline \text{ } \\ \hline \end{array} \text{ 日} = \begin{array}{|c|} \hline \text{当該店舗への支給額} \\ \hline \text{ } \\ \hline \end{array} \text{ 円}$$

支給額の計算が必要です。以下を記入して支給額を確定してください。

開業から時短開始日の 前日までの売上高	÷	開業から時短開始日 の前日までの日数	×	0.4	=		円	
①		②				③		
							千円未満切上	
							1日あたりの支給単価	
							④	円
							※最大10万円	
1日あたりの支給単価	×	時短協力日数 (最大12日)	=				当該店舗の支給額	
④		⑤					⑥	円

【期間F（8月20日～9月12日）】

1日あたりの売上高は、**100,000円**を超えますか？（1日あたりの売上高＝開店日から時短営業開始日の前日までの売上高総額÷開店日から時短営業開始日の前日までの日数）

はい

いいえ又は不明

支給額は1日あたり**4万円**です（売上高の証明は不要）。

以下を記入して支給額を確定してください。

$$40,000 \text{ 円} \times \begin{array}{|c|} \hline \text{時短協力日数 (最大24日)} \\ \hline \text{ } \\ \hline \end{array} \text{ 日} = \begin{array}{|c|} \hline \text{当該店舗への支給額} \\ \hline \text{ } \\ \hline \end{array} \text{ 円}$$

支給額の計算が必要です。以下を記入して支給額を確定してください。

開業から時短開始日の 前日までの売上高	÷	開業から時短開始日 の前日までの日数	×	0.4	=		円	
①		②				③		
							千円未満切上	
							1日あたりの支給単価	
							④	円
							※最大10万円	
1日あたりの支給単価	×	時短協力日数 (最大24日)	=				当該店舗の支給額	
④		⑤					⑥	円

本書の内容（期間D～Fの合計額）で申請します